

自主防災組織災害対応訓練 イメージT E N

付与する課題

○課題 1 (地震発生から約 15 分後)

地域 A 内の被災状況が分からない。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

(ヒント) 誰が被災状況を確認するのか？

地域住民の安否確認はどのように行うのか？

各地の情報を災害対策本部にどのように伝えるのか？

○情報付与 1 (地震発生から約 20 分後)

地域内の道路が 10 箇所、ブロック塀の倒壊や電柱の転倒などにより通行できなくなった。

通行不能箇所を各グループで自由に決めて、適宜 10 箇所に「×」印をつけてください。

○課題 2 (地震発生から約 30 分後)

地域 A 内の B 地点 (地域 A の中心地点 X から約 200m 西) で 3 軒の家屋が全壊しているとの情報が入った。住人が生き埋めになっているらしい。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

(ヒント) 誰が、何人で、救出救助に向かうのか？

人集めはどうするか？

人が集まったとして何をいくつ持っていくのか？

○課題 3 (地震発生から約 45 分後)

B 地点の家屋倒壊情報に続き、C 地点 (地域 A の中心地点 X から約 200m 南) でも 10 軒の家屋が全壊しているとの情報が入った。B 地点と同様、住人が生き埋めになっているらしい。

どうするか？

(ヒント) 複数の場所で同時に起きた？

○情報付与 2 (地震発生から約 50 分後)

風が吹いている。南西から北東方向に向かったの風である。

(注意) 地震発生の際の気象条件で「無風」と設定した場合は、この時間帯から数時間程度「弱い風が時々吹いている」という状況を想定する。

○課題4（地震発生から約1時間後）

B地点やC地点での救出救助活動に取り掛かった頃、地域Aの中心地点Xから南の方角に、黒い煙が上がっているのが見えた。おそらく、飲食店が立ち並ぶD地点（地域Aの中心地点Xから約300m南西）で火災が発生したと思われる。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

（ヒント） 誰が、何人で、消火活動に向かうのか？

人集めはどうするか？

人が集まったとして何をいくつ持っていくのか？

消防水利は機能するのか？

初期消火が可能とされる時間内に消火活動ができるのか？

初期消火以外に注意すべきことはあるか？

○課題5（地震発生から約1時間30分後）

D地点の火災が拡大し、延焼火災の危険性が高まった。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

（ヒント） まずは風下のエリアの住民をどうするか？

誰が何をしたらいいのか？

住民の安全を確保するためにどうするか？

○課題6（地震発生から約2時間後）

B地点で救出した人の中に、重い怪我をした人が5人いるとのこと。うち一人は頭を強打して意識不明、もう一人は外観上怪我はしていないようだが自力ではまったく歩けないという。さらに別の一人は自分で歩くことはできるものの腕を骨折している。他の二人は顔や頭から血を流しているが自分で歩くことはできる。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

（ヒント） 誰が、何人で応急救護を行うのか？

誰から優先的に手当が必要か、あるいは、搬送が必要か？

搬送はどうするのか（何を用意するのか）？

どこへ搬送するのか？

（注意）この時点では、救護所の状況は不明とする。

○情報付与3（地震発生から約2時間45分後）

D地点で発生した火災は拡大したものの、同街区内の26軒を全半焼して鎮火した。幸いにも、商店や病院が建ち並ぶD地点の北側及び東側の街区への延焼は免れた。

○課題7（地震発生から約3時間後）

地域内の各地から怪我をした住民がE小学校のグラウンドに集まってきた。救護所が開設されるはずだが、まだ医師・看護師は来ていない。

応急救護をどうするか？具体的に考えよう。

（ヒント）　そもそも怪我をしたら住民はどうしたらいいのか？
救護所が開設されるまで誰が何をしたらいいのか？
救護に何が必要か？

○課題8（地震発生から約4時間後）

多くの住民がE小学校に集まってきた。自宅が壊れてしばらく生活できそうにない人も多い。集まってきた人は、避難所（体育館）を開けるように騒いでいる。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

（ヒント）　避難所（体育館）の鍵は誰が持っているのか？
誰の仕切りで避難者を受付するのか？
誰が開設の作業を行うのか？
そもそも開設に必要な物資はあるのか？どこに保管されているのか？
避難生活を希望する人は、どの人から受付するのか？早い者勝ちか？

○課題9（地震発生から約6時間後）

指定避難所であるE小学校には、時間の経過とともに避難生活希望者が増えている。既に、体育館内には30世帯80人ほどの人が入場している。

そこへ、寝たきり高齢者を連れた世帯と精神障害のある幼児を連れた世帯がやって来た。さらに、ペットの犬（中型犬）を連れた世帯もやって来た。いずれの世帯も避難所生活を希望している。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

- （ヒント） 避難所（体育館）の間取りは決めているか？
災害時要援護者が利用を希望する場合どうするか？
満員になってしまった場合どうするのか？
ペットを連れて来た場合どうするか？

○情報付与4（地震発生から約24時間後）

B地点の救出救助、応急救護は無事終了したが、C地点の救出救助は現在も続いている。

火災はD地点以外には発生していない。

E小学校では、救護所及び避難所が開設され、地震発生直後の混乱はすべて収束した。

○課題10（地震発生から約24時間後）

自宅で生活している人の中に、水食料がなく困っている人がいるらしい。また、10階建てのFマンションの高層階に住む高齢者世帯の生活状況が全く分からない。どうやら、停電でエレベーターが止まっていて、自室から出てくる様子がないらしい。

自主防災組織はどう対処するのか、具体的に考えよう。

- （ヒント） 自宅で生活続ける人をどう支援するか？
マンションやアパートの住人の安否をどう確認するか？
情報や生活支援物資は誰が発信・発送し、誰が届けるのか？